

2022年3月期第2四半期決算説明資料

＜補足説明資料＞
運輸成績及び事業計画等



東京地下鉄株式会社
2021年11月5日

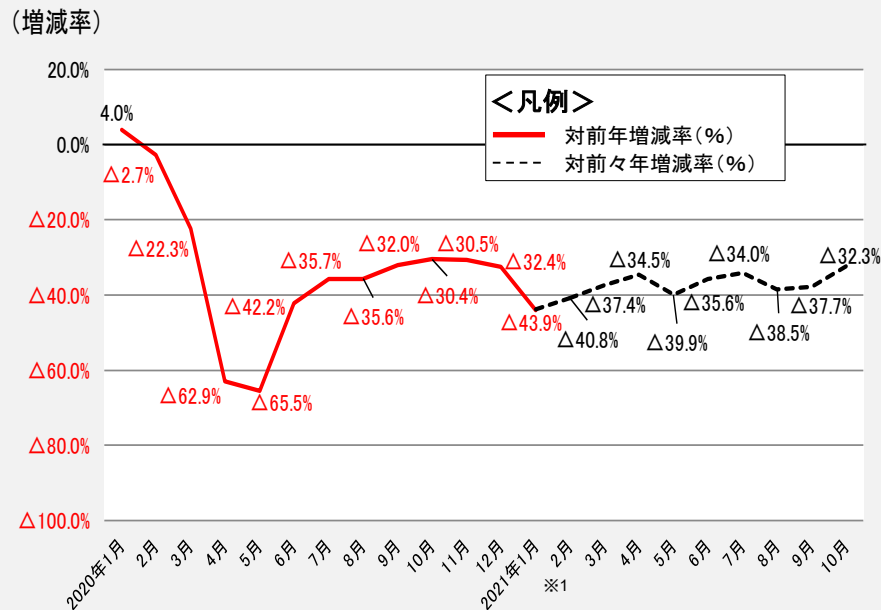
運輸成績トピックス①

定期・定期外合計及び定期（平日）のご利用において、
新型コロナウイルス感染症による影響（月別）が見られました。

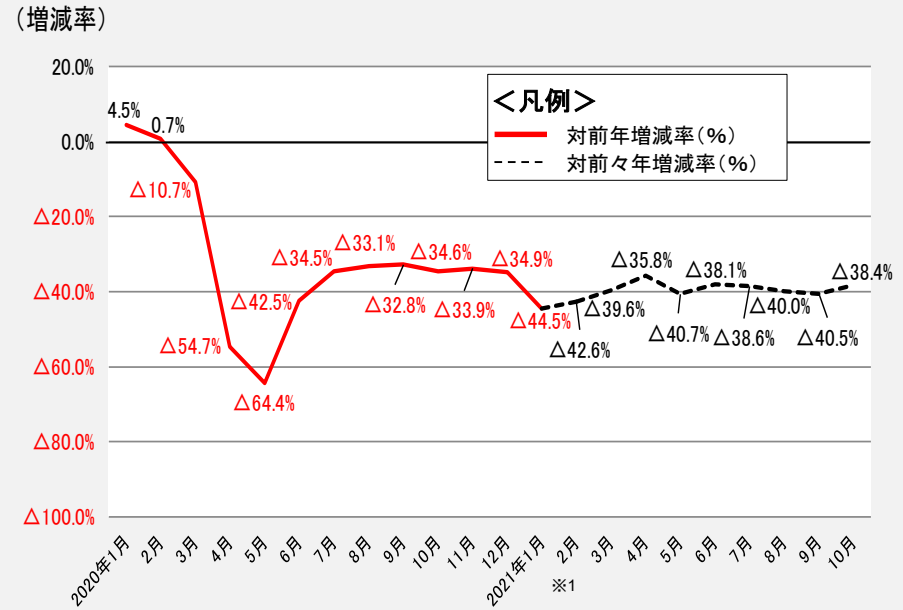
全線における自動改札機データ（定期・定期外合計及び定期 月別）

- 自動改札機における全駅の平日の定期・定期外合計出場枚数及び定期出場枚数は、今期においては感染者数が増加傾向にあった2021年5月と8月に減少幅が拡大しましたが、9月30日に緊急事態宣言が解除され、10月は減少幅が縮小しております。

平日（定期・定期外合計） 出場



平日（定期） 出場



※1 2020年2月以降は新型コロナウイルス感染症の影響により減少していることから、2021年1月までは対前年増減率、2021年2月以降は対前々年増減率を記載。

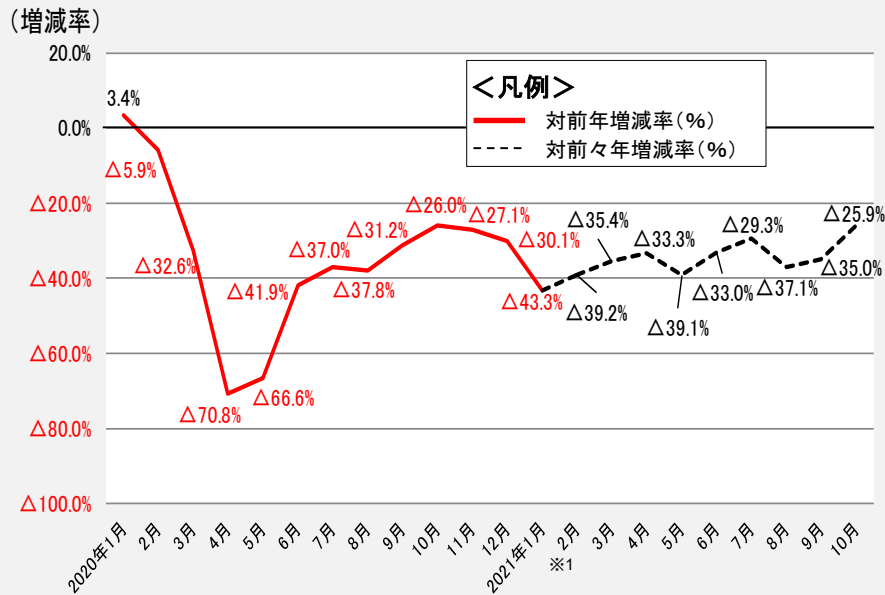
運輸成績トピックス②

定期外（平日及び土休日）のご利用において、
新型コロナウイルス感染症による影響（月別）が見られました。

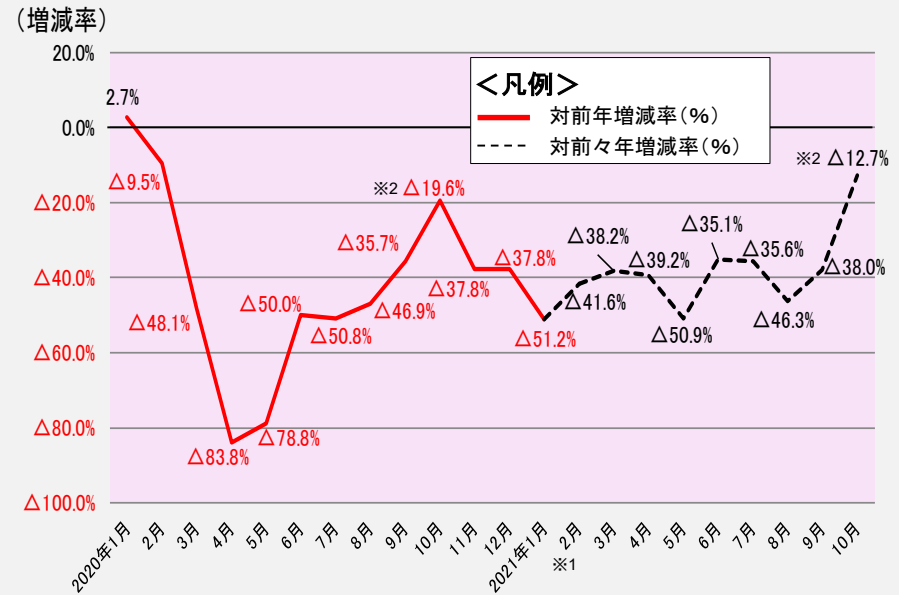
全線における自動改札機データ（定期外 月別）

- 定期外出場枚数では、平日・土休日ともに、今期においては感染者数が増加傾向にあった2021年5月と8月に減少幅が拡大しましたが、感染者数の減少に伴い、9月以降は、平日・土休日ともに減少幅が縮小傾向となり、総じて定期よりも減少幅の縮小傾向が強くなっております。

平日（定期外） 出場



土休日（定期外） 出場



※1 2020年2月以降は新型コロナウイルス感染症の影響により減少していることから、2021年1月までは対前年増減率、2021年2月以降は対前々年増減率を記載。

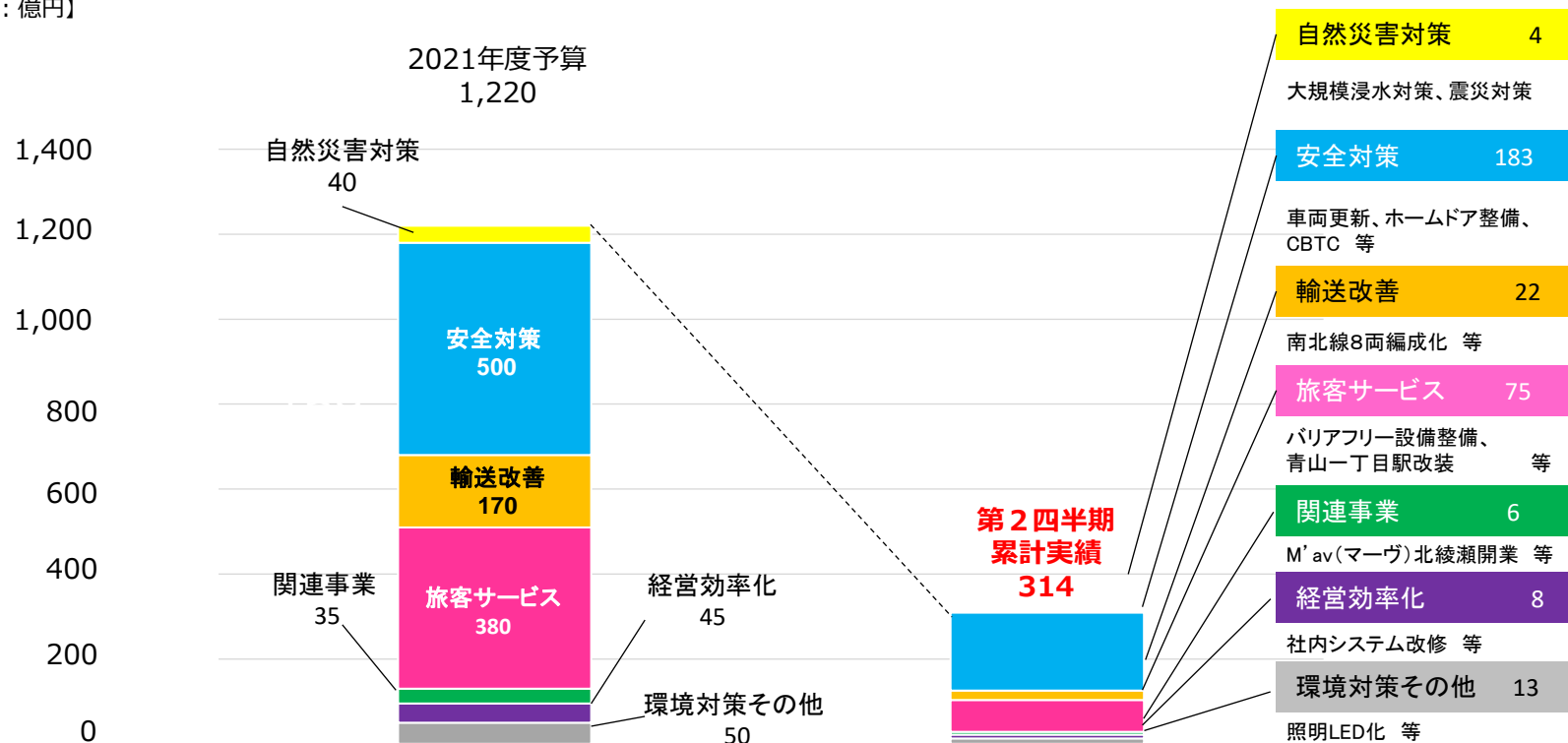
※2 2019年10月12日（土）、13日（日）台風19号による運休の影響を含む。（2020年10月 約10ポイント、2021年10月 約11ポイント減少幅圧縮）

第2四半期までの設備投資実績について

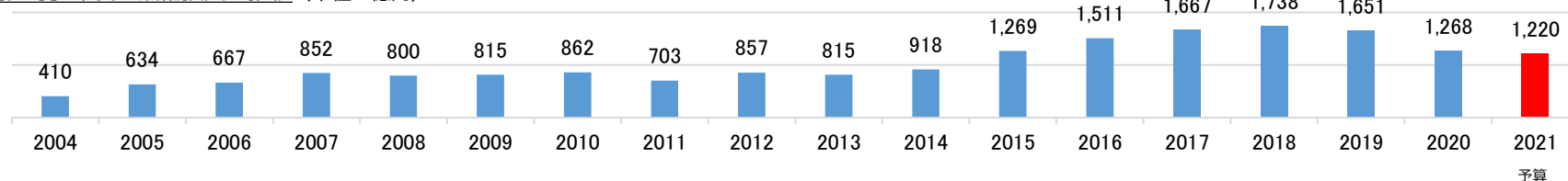
2021年度第2四半期においては、安全の確保を前提とした削減を実施しつつ、安全対策をはじめとして累計314億円の設備投資を実施しました。

設備投資

【単位：億円】



【参考】年度別設備投資額推移 (単位：億円)



予算

SDGsへの取組み

環境問題・社会課題双方の解決に資する施策に充当する資金の調達手段として、昨年度に続き2回目となる「サステナビリティボンド」を2021年10月に発行しました。

(1) 発行概要

項目	内容
社債名称	東京地下鉄株式会社第52回社債（一般担保付）（サステナビリティボンド）
発行総額	100億円
年限	10年
発行日	2021年10月14日
主幹事証券会社	SMBC日興証券株式会社、野村證券株式会社、みずほ証券株式会社

(2) 資金使途の詳細

調達資金は、マテリアリティに関連する施策のうち、「ホームドアの整備」、「大規模浸水対策」、「震災対策」、「有楽町線・副都心線 17000系車両、半蔵門線18000系車両の導入」、及び「太陽光発電システムの設置」に係る費用の一部に充当する予定です。

<p>駅ホームの安全性向上 「ホームドアの整備」</p>  <p>日比谷線ホームドア</p> 	<p>自然災害対策 「大規模浸水対策」「震災対策」</p>  <p>トンネル坑口防水ゲート</p>  	<p>新型車両の導入 「有楽町線・副都心線 17000系車両、半蔵門線 18000系車両の導入」</p>  <p>半蔵門線 18000系車両</p>   	<p>再生可能エネルギーの導入 「太陽光発電システムの設置」</p>  <p>地上駅における太陽光発電システム</p>  
---	--	---	--